

# 講演会 生命をはぐくむ谷津・里山

八千代市民の多くが、緑豊かなまちと感じ、満足感を持っています。この緑は、里山と言われる農村集落を含めた山林・水田・畑・草地・河川湖沼などの自然環境です。

里山は、昔から農業がおこなわれ人々の生活を支えてきたばかりでなく、現在は都市住民が自然と触れ合える貴重な場です。また、雨水を涵養し土壌の流出を保ち、気温上昇を緩和し、二酸化炭素を吸収し酸素を供給するなど環境や国土保全にも役立っています。このため我々を含め多くの生命がはぐくまれています。



写真 稲が植えられた北ノ谷津（小池地区）

とりわけ北総地域の特徴的地形である谷津は、湧水に恵まれ多様な生物が生存しています。

しかし現在、八千代市内では、都市化などにより谷津・里山の面積が急速に減少し、農業従事者の高齢化や経済的要因により耕作放棄地が拡大するなど、荒廃が進んでいます。

そのため、谷津・里山の大切さを知っていただき、どのように利用し保全していくかを考えるため、講演会を開催します。また、谷津・里山において活動している市民団体の皆さんの活動を紹介しますので、ご参加下さい。



写真：手入れがされた山林

に咲くキンラン

日 時 平成21年3月21日（土）

13時30分～16時30分（受付開始13時）

場 所 郷土博物館学習室（八千代市村上1170-2） 裏面参照

- 内 容
1. 講演 「谷津・里山を活かすまちづくりと農業」  
講師 千葉大学名誉教授・地域計画家 中村 攻氏
  2. 谷津・里山で活動する市民団体からの報告
  3. 意見交換

入場無料



写真中：ニホンアカガエル

写真左：千葉県絶滅危惧種指定のヘイケボタルとニホンアカガエルの保護活動をおこなう市民団体の皆さん（吉橋地区）

主催：八千代市安全環境部環境保全課

電話 047(483)1151 内線 3215

※この講演会は、第6回 ちば里山フェスティバル「里山ツボヅルム」の分科会の一つとしても位置づけられています。（全体会：5月17日、佐倉市志津コミュニティセンター、テーマ「里山と食料・水・木材」）

## 地図 郷土博物館



\*京成電鉄勝田台駅南口より米本団地行き東洋バスで市営住宅前下車，徒歩2分（約15分に1本の運行）

\*東葉高速鉄道村上駅より，徒歩10分

\*京成八千代台駅西口・東葉高速鉄道八千代中央駅より米本団地行き東洋バスで郷土博物館下車，徒歩1分（運転本数が少ないので時刻表をご確認のうえご利用ください）